

！！緊急署名！！

愛媛県知事 中村時広 殿

<<要請事項>>

伊方原発を即刻止めてください！
私達のふるさとを守ってください！
子どもたちや未来の人々への責任を果たしてください！

<<要請主旨>>

これまでの、県や四国電力による、「5重の壁に原子炉は守られている」どんな地震が来ても想定内。地震、津波の影響はないと判断する。」という言葉は、あっけなく大津波にのみこまれ、ついに取り返しのつかない事態になったことを認めないわけにはいきません。福島原子力発電所の原発震災に、私達は大きな戦慄、恐怖の日々を送っています。

事故は「天災」といわんばかりに、「想定外」を濫用する国や電力会社の責任逃れは目を覆うばかりです。日本の沿岸地震では、ほんの100年ほど前の1896年（明治29年）の明治三陸地震津波で、10メートル、20メートル級の大津波が記録されているのであり、今回の地震規模の大きさを、事故理由にできないことは明らかです。大地震と大津波を「故意に想定しなかった」電力会社の責任は重く、まさにこのたびの原発震災は「人災」です。

東北・関東大地震に連動する可能性のある「東海」「東南海」「南海」地震、そして伊方沖のA級活断層は活動期にあります。伊方原発では、福島原発3号炉と同様、きわめて危険なプルサーマル発電が強行されており、次なる「想定外」を恐れずにはられません。

正しい情報を隠し、「放射能は直ちに身体に影響ありません」という虚偽の発表を出し続ける国や学者の姿を見て、私達はなんという国に生きているのかと、腹だたしく悲しくてなりません。

「国の審査を信頼している。国策に従う。」と前加戸知事、中村知事は言い続けてこられました。しかし、私達は、電力会社の利益・国策のために、原発震災の被害者になりたくありません。県の安全審査の誤りを認め、子どもたちや未来の人々、地球上のあらゆる命のため、伊方原発を即刻停止してください。その権限をもつ県知事に要請します。

名前	住所

取りまとめ：原発さよなら四国ネットワーク

連絡先：大野 TEL・FAX 089-933-4237

FAXでも受付可能です ホームページからも署名ができます：<http://genpatsu-sayonara.net/>

署名郵送先：〒790-8691 郵便事業（株）松山支店私書箱151号

第一次集約：2011年4月末

第二次集約：2011年5月末